

お手入れ方法

基本 アイテム 素材 認定 特性 加工

商品のお手入れについて

本製品は天然木と比較してメンテナンスの必要が少ない素材です。しかし、長期間掃除しないで放置しておきますと太陽光による影響及び大気中の湿気・埃、雨水や土、砂等の影響で表面に付着した汚れなどが原因で変色やシミ、衣類への粉の付着等が発生させることがあります。

本製品を美しくお使いいただくために、以下の方法を参考にお手入れを実施してください。

汚れについて

- ・汚れは使用環境に大きく影響されます。特に、工業地域や海岸地域、排ガスの多い場所ではお手入れの回数を増やして下さい。
- ・汚れが付着した場合は、頑固な汚れになる前に清掃等を行ってください。

お手入れの際の注意事項

- ・ひどい汚れを落とす場合でも、強酸、強アルカリ、シンナーやベンジンなどの有機溶剤、石油類は使用しないでください。変色・劣化の原因となることがあります。
- ・清掃後は、洗剤をきれいに洗い流してください。洗剤が残ると変色などの原因になることがあります。
- ・高圧洗浄機での洗浄も可能ですが、水圧によっては製品の木目加工に影響を及ぼしたり、製品表面に跡が残る場合がありますので、影響のない部分(製品端部等)で状況確認した後に行ってください。

※詳しくはNo.001-04「高圧洗浄機での清掃方法について」をご参照下さい。

お手入れ方法

■ 通常のお手入れ

- ・本製品表面についたごみやほこりは、ほうき等で取り除いて下さい。汚れている部分は柔らかい布かスポンジで水拭きした後に乾拭きして下さい。

■ 汚れのひどい場合

- ・中性洗剤を所定の割合の水で希釈して薄めた液で雑巾やデッキブラシなどで長手方向(木目方向)に擦るように拭き汚れを落とし、洗剤が残らない様に水洗いしてから最後にしっかりと乾拭きして下さい。

■ 定期的なお手入れ

- ・年に3~4回の頻度で、柔らかい布かスポンジで水拭きした後に乾拭きして下さい。

■ シミ

- ・雨じみの除去 (使用環境によって雨、雪等により、製品表面に部分的なしみが残ることがあります。)

- ① 通常のお手入れの方法で、本製品の表面のごみやほこり、汚れを除去します。
- ② 散水ホース等を用いて、本製品全体に表面が完全に濡れるように十分に散水します。
- ③ 散水終了後、自然乾燥しますとしみを目立ちにくくすることができます。製品表面に水が部分的に残っている場合は必ず拭きをして下さい。

※詳しくはNo.001-06「雨じみ除去方法」を、またカビが発生した場合はNo.001-05「カビの発生及び除去方法について」をご参照下さい。

■ 傷・こげあと

- ・製品表面についた傷やこげあとの除去
表面の汚れを雑巾等で拭き取った後、汚れ及び傷部分をサンドペーパー(#24~40)で長手方向(木目方向)に擦り、傷を取り除いて下さい。最後に表面の削り粉を清掃して下さい。初期の表面と若干異なることがありますので、お手入れ場所周辺を含め全体的にぼかす感じでごすることがポイントです。



タバコの焦げ跡



サンドペーパーによる除去後



点検とメンテナンス

デッキ使用の場合、デッキ下部の水はけが悪くなることで湿度が高くなり、本製品に悪影響を及ぼす可能性がありますので、上記「定期的なお手入れ」と併せて、年3~4回の頻度で点検・メンテナンスを実施してください。

- ・水溜りの原因をなくすための目地隙間間隔が確保できているか?(目地がゴミによって塞がれていないか?)
- ・下地及び排水溝にゴミが溜まっていないか?(溜まっている場合は掃除を実施してください。)